

| | | |
|--------------------------------|-----|---|
| サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル | その他 | 高血糖 |
| シクロスポリン | その他 | 高血糖 |
| シスプラチン | 重大 | 高血糖 (0.1%未満)、糖尿病の悪化 (0.1%未満): 高血糖、糖尿病の悪化があらわれるおそれがあり、シスプラチン静注時には昏睡、ケトアシドーシスを伴う重篤な症例も報告されているので、血糖値や尿糖に注意するなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと |
| ジドブジン・ラミブジン | その他 | 高血糖(20%以上) |
| 頭蓋内圧亢進・頭蓋内浮腫治療剤(グリセオール注) | その他 | 非ケトン性高浸透圧性高血糖 |
| 塩酸セリプロロール | その他 | 高血糖の悪化 |
| 塩酸ソタロール | その他 | 高血糖 |
| ソマトロピン(遺伝子組換え) | 重大 | 糖尿病(頻度不明): 耐糖能低下があらわれ、糖尿病を発症することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと |
| | その他 | 高血糖 |
| サキナビル | 重大 | 糖尿病、糖尿病の悪化及び高血糖が発現し、その中には重篤な症例やケトアシドーシスを伴っていた症例の報告がある。このような副作用があらわれた場合には、インスリンや血糖降下剤等の投与等適切な処置を行うこと |
| メシル酸サキナビル | 重大 | 高血糖(0.7%)、糖尿病(1.4%)、糖尿病の悪化(頻度不明): 糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖があらわれ、その中には重篤な症例やケトアシドーシスを伴っていた症例の報告がある。このような症状があらわれた場合には、インスリンや血糖降下剤の投与等適切な処置を行うこと |
| サニルブジン | その他 | 高血糖 |
| 三酸化ヒ素 | その他 | 高血糖 |
| シクロホスファミド | その他 | 高血糖 |
| ジダノシン | その他 | 高血糖 |
| 塩酸シプロフロキサシン | その他 | 高血糖 |
| タクロリムス水和物 | 重大 | 糖尿病、高血糖: 糖尿病及び糖尿病の悪化(5%未満)、高血糖(15%以上)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には減量・休薬等の適切な処置を行うこと |
| テオフィリン | 重大 | 高血糖症 |
| 塩酸デクスメトミジン | その他 | 高血糖 |

| | | |
|---------------------------|-----|--|
| ドキシソルビシン塩酸塩 | その他 | 高血糖 |
| トラセミド | その他 | 高血糖症 |
| トリクロロメチアジド | その他 | 高血糖症 |
| トリパミド | その他 | 高血糖症 |
| ニフェジピン | その他 | 高血糖 |
| パクリタキセル | その他 | 高血糖, 低血糖 |
| バルガンシクロビル塩酸塩 | その他 | 高血糖 |
| ビカルタミド | その他 | 高血糖 |
| 泌尿器科用灌流液 | その他 | 高血糖 |
| ヒドロクロロチアジド | その他 | 高血糖症 |
| ピレタニド | その他 | 高血糖症 |
| フェニトイン | その他 | 高血糖 |
| ブクラデシンナトリウム | その他 | 高血糖 |
| ブメタニド | その他 | 高血糖症 |
| フルコナゾール | その他 | 高血糖 |
| フロセミド | その他 | 高血糖症 |
| プロピオン酸フルチカゾン | その他 | 高血糖 |
| ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え) | 重大 | 糖尿病(1%未満):糖尿病[インスリン依存型(IDDM)及びインスリン非依存型(NIDDM)]が増悪又は発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行い,異常が認められた場合には適切な処置を行うこと |
| ベスナリノン | その他 | 高血糖 |
| 塩酸ベタキソロール | その他 | 高血糖 |
| ベンチルヒドロクロロチアジド | その他 | 高血糖症 |
| ホスアンプレナビルカルシウム水和物 | 重大 | 高血糖、糖尿病:糖尿病、糖尿病の悪化、糖尿病性ケトアシドーシス(いずれも頻度不明)及び高血糖(1%未満)があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合は、インスリン又は経口糖尿病薬の投与開始や用量調節など適切な処置を行うこと(HIVプロテアーゼ阻害剤にて治療中の患者において、糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖及び糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれたとの報告がある) |
| ホスフルコナゾール | その他 | 高血糖 |
| ポリコナゾール | その他 | 高血糖 |
| ボルテゾミブ | その他 | 高血糖 |

| | | |
|-----------------------------|-----|--|
| ミゾリビン | 重大 | 高血糖、糖尿病：(0.11%)高血糖、糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと |
| メチクラン | その他 | 高血糖症 |
| メフルシド | その他 | 高血糖症 |
| 塩酸モキシフロキサシン | その他 | 高血糖 |
| リスペリドン | その他 | 高血糖 |
| 塩酸リトドリン | 重大 | 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス：血糖値の急激な上昇や糖尿病の悪化から、糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれることがある。糖尿病性ケトアシドーシスに至ると母体と胎児の生命を脅かすことがある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと(機序不明) |
| リトナビル | 重大 | 高血糖、糖尿病(頻度不明)：高血糖、糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがある |
| リネゾリド | その他 | 高血糖 |
| リバビリン | 重大 | 糖尿病(1%未満)：糖尿病[インスリン依存型(IDDM)及びインスリン非依存型(NIDDM)]が増悪又は発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値、尿糖等)を行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと その他：高血糖 |
| レセルピン・塩酸ヒドララジン・ヒドロクロロチアジド配合 | その他 | 高血糖症 |
| ロサルタンカリウム／ヒドロクロロチアジド | その他 | 高血糖症(重大に、低血糖有り) |
| ロピナビル・リトナビル | 重大 | 高血糖、糖尿病：高血糖、糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがある。[HIVプロテアーゼ阻害薬にて治療中の患者に糖尿病、糖尿病の悪化及び高血糖があらわれたとの報告がある。一部の例ではインスリン又は経口糖尿病薬の投与開始や用量調節が必要となった。一部では糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれている。HIVプロテアーゼ阻害薬を中止した例の一部では、高血糖が持続した。] |

表2 添付文書に糖尿病について記載されている主な医薬品（2009年1月現在）

（各添付文書中の項目で、重大な副作用、その他の副作用のいずれかを分類し、添付文書中の高血糖に関する表現を抜粋した）

| 一般名 | 重大な副作用 | その他副作用 |
|-------------------------|--|----------|
| アスパラギナーゼ | 膵内分泌機能障害(膵ランゲルハンス島炎)による糖尿病 があらわれることがあるので、観察を十分に行い、口渇感、多飲多尿等の症状があらわれた場合には休薬又は投与を中止し、適切な処置を行うこと。 | 耐糖能異常 |
| アタザナビル硫酸塩 | 糖尿病, 糖尿病の悪化及び高血糖 : 糖尿病, 糖尿病の悪化及び高血糖があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行うこと。 | 糖尿病 |
| アダリムマブ(遺伝子組換え) | | 高血糖, 糖尿病 |
| アトルバスタチンカルシウム水和物 | 高血糖、糖尿病 : 高血糖、糖尿病があらわれることがあるので、口渇、頻尿、全身倦怠感等の症状の発現に注意するとともに、定期的に検査を行うなど十分な観察を行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。 | |
| アリピプラゾール | 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡 : 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡から死亡に至るなどの致命的な経過をたどった症例が報告されているので、本剤投与中は口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感等の症状の発現に注意するとともに、血糖値の測定を行うなど十分な観察を行い、異常が認められた場合には、インスリン製剤の投与などの適切な処置を行うこと。 | 高血糖 |
| イセチオン酸ペンタミジン | 高血糖、糖尿病 : 高血糖、糖尿病があらわれることがあるので、このような症状が発現した場合には投与を中止し、インスリンなどの適切な処置を行うこと。 | |
| インジナビル | 血糖値の上昇、糖尿病 : 定期的に検査を実施するなど観察を十分に行うこと。 | |
| インターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え) | 糖尿病 [インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]: 糖尿病が増悪または発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値, 尿糖等)を行うこと。 | 血糖上昇 |
| インターフェロンアルファ(BALL-1) | 糖尿病 [インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]: 糖尿病が増悪または発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値, 尿糖等)を行うこ | 血糖上昇 |

| | | |
|--------------------------|--|--------------------------------|
| | と。 | |
| インターフェロンアルファ(NAMALWA) | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪または発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行うこと。 | 血糖上昇 |
| インターフェロンアルファコン-1(遺伝子組換え) | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪または発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行うこと。 | 血糖上昇 |
| インターフェロンベータ | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪または発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行うこと。 | 血糖上昇 |
| インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え) | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪または発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行うこと。 | |
| インターフェロン-β-1b(遺伝子組換え) | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)及びインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪又は発症することがあり,昏睡に至ることがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行い,異常が認められた場合には投与を中止し,適切な処置を行うこと。 | |
| インターフェロンガンマ-1a(遺伝子組換え) | 糖尿病:糖尿病が増悪又は発症することがあるので,定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行い,異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 | |
| インフリキシマブ(遺伝子組換え) | | 糖尿病、高血糖 |
| エプレレノン | | 高血糖、尿糖、糖尿病悪化 |
| オランザピン | 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡:高血糖があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡から死亡に至るなどの致命的な経過をたどることがあるので、血糖値の測定や、口渇、多飲、多尿、頻尿等の観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、インスリン製剤の投与を行うなど、 | 尿糖、糖尿病、高血糖、糖尿病性昏睡、糖尿病性ケトアシドーシス |

| | | |
|-------------------|---|-----------------------|
| | 適切な処置を行うこと。 | |
| カルベジロール | | 血糖値上昇, 低血糖, 尿糖, 糖尿病悪化 |
| フマル酸クエチアピ ン | 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡:高血糖があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡(いずれも頻度不明注))から死亡に至るなどの致命的な経過をたどることがあるので、血糖値の測定や、口渇、多飲、多尿、頻尿等の観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、インスリン製剤の投与を行うなど、適切な処置を行うこと。 | |
| クロルマジノン酢酸 エステル | 糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖:糖尿病、糖尿病の悪化あるいは高血糖があらわれることがあり、昏睡、ケトアシドーシスを伴う重篤な症例も報告されているので、血糖値や尿糖に注意するなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| ゴセレリン酢酸塩 | 糖尿病の発症又は増悪:糖尿病の発症又は増悪があらわれることがあるので、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 | |
| コルチゾン酢酸エ ステル | 糖尿病 | |
| サキナビルメシル 酸塩 | 高血糖、糖尿病、糖尿病の悪化:糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖があらわれ、その中には重篤な症例やケトアシドーシスを伴っていた症例の報告がある。このような症状があらわれた場合には、インスリンや血糖降下剤の投与等適切な処置を行うこと。 | |
| サニルブジン | | 糖尿病, 高血糖, 糖尿 |
| シスプラチン | 高血糖、糖尿病の悪化:高血糖、糖尿病の悪化があらわれることがあり、昏睡、ケトアシドーシスを伴う重篤な症例も報告されているので、血糖値や尿糖に注意するなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| ジダノシン | | 糖尿病, 低血糖, 高血糖 |
| スニチニブリンゴ酸 塩 | | 高血糖、糖尿病悪化 |
| セレコキシブ | | 糖尿病 |

| | | |
|----------------------|---|-------------|
| ソマトロピン(遺伝子組換え) | 糖尿病 :耐糖能低下があらわれ、糖尿病を発症することがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行うこと。 | 耐糖能低下 |
| タクロリムス水和物 | 糖尿病、高血糖 :糖尿病及び糖尿病の悪化(5%未満)、高血糖(15%以上)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には減量・休薬等の適切な処置を行うこと。 | |
| ダルナビルエタノール付加物 | | 糖尿病 |
| デキサメタゾン | 糖尿病 | |
| デキサメタゾンパルミチン酸エステル | | 糖尿病 |
| デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム | 糖尿病 | |
| リン酸デキサメタゾンナトリウム | 糖尿病 | |
| ドキシソルビシン塩酸塩リポソーム | | 糖尿病、高血糖、低血糖 |
| トリアムシノロン | 糖尿病 | |
| トリアムシノロンアセトニド水性懸濁注射液 | 糖尿病 | |
| トシリズマブ(遺伝子組換え) | | 糖尿病増悪 |
| ニプラジロール | | 糖尿病悪化 |
| メシル酸ネルフィナビル | 糖尿病, 血糖値の上昇 :本剤の投与により、糖尿病、糖尿病の悪化及び血糖値の上昇が報告されており、その中には重篤な症例やケトアシドーシスを伴う症例も報告されているので、このような症状があらわれた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| バルガンシクロビル塩酸塩 | | 高血糖、低血糖、糖尿病 |
| ヒドロコルチゾン | 糖尿病 | |
| | | |
| コハク酸ヒドロコルチゾンナトリウム | 糖尿病 :糖尿病があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム | 糖尿病 | |

| | | |
|--|---|--------|
| ブロナンセリン | 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡:他の抗精神病薬で、高血糖や糖尿病の悪化があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡に至ることがあるとの報告があり、本剤においても血糖値の上昇が認められているため、口渇、多飲、多尿、頻尿等の症状の発現に注意するとともに、血糖値の測定を行うなど十分な観察を行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、インスリン製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | |
| プレドニゾン | 糖尿病 | |
| プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム | 糖尿病 | |
| フルドロコルチゾン酢酸エステル | 糖尿病 | |
| ペグインターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え) | 糖尿病[インスリン依存型(IDDM)およびインスリン非依存型(NIDDM)]:糖尿病が増悪または発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行うこと。 | 血糖上昇 |
| ペグインターフェロンアルファ-2b(遺伝子組換え) | 糖尿病:糖尿病[インスリン依存型(IDDM)及びインスリン非依存型(NIDDM)]が増悪又は発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値,尿糖等)を行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 | 高血糖,尿糖 |
| ペグビソマント(遺伝子組換え) | | 糖尿病 |
| ベタメタゾン | 糖尿病 | |
| ベタメタゾン、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩配合剤 | 糖尿病 | |
| ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム配合水性懸濁注射液 | 糖尿病 | |
| ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム | 糖尿病 | |
| ベルテポルフィン | | 糖尿病 |

| | | |
|---------------------------------|---|------------------------------|
| ホスアンプルナビル カルシウム水和物 | 高血糖、糖尿病 :糖尿病、糖尿病の悪化、糖尿病性ケトアシドーシス(いずれも頻度不明)及び高血糖(1%未満)があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合は、インスリン又は経口糖尿病薬の投与開始や用量調節など適切な処置を行うこと(HIVプロテアーゼ阻害剤にて治療中の患者において、糖尿病、糖尿病の悪化、高血糖及び糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれたとの報告がある)。 | |
| ミコフェノール酸モ フェチル | 糖尿病 :このような症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | 低血糖、血糖値上昇 |
| ミゾリビン | 高血糖、糖尿病 :高血糖、糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| メチルプレドニゾロ ン | 糖尿病 :糖尿病があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| メチルプレドニゾロ ンコハク酸エステル ナトリウム | 糖尿病 :糖尿病があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| メチルプレドニゾロ ン酢酸エステル | 糖尿病 :糖尿病があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 | |
| メドロキシプロゲス テロン酢酸エステ ル錠 | | 糖尿、耐糖能異常、糖尿病悪化、 糖尿病性白内障増悪 |
| ラルテグラビルカリ ウム | | 糖尿病 |
| リスペリドン | 高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡 :高血糖や糖尿病の悪化があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡に至ることがある。口渇、多飲、多尿、頻尿等の症状の発現に注意するとともに、血糖値の測定を行うなど十分な観察を行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、インスリン製剤の投与等の適切な処置を行うこと。 | |
| リバビリン | 糖尿病 :糖尿病[インスリン依存型(IDDM)及びインスリン非依存型(NIDDM)]が増悪又は発症することがあり、昏睡に至ることがあるので、定期的に検査(血糖値、尿糖等)を行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 | |

| | | |
|----------------|---|--|
| リトドリン塩酸塩 | 高血糖, 糖尿病性ケトアシドーシス: 血糖値の急激な上昇や糖尿病の悪化から, 糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれることがある。糖尿病性ケトアシドーシスに至ると母体と胎児の生命を脅かすことがある。観察を十分に行い, 異常が認められた場合には, 直ちに投与を中止し, 適切な処置を行うこと。 | |
| リトナビル | 高血糖, 糖尿病: 高血糖, 糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがある。 | |
| リユープロレリン酢酸塩 | 糖尿病の発症又は増悪: 異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。 | |
| ロピナビル・リトナビル配合剤 | 高血糖, 糖尿病: 高血糖, 糖尿病及び糖尿病の悪化があらわれることがある。[HIV プロテアーゼ阻害薬にて治療中の患者に糖尿病, 糖尿病の悪化及び高血糖があらわれたとの報告がある。一部の例ではインスリン又は経口糖尿病薬の投与開始や用量調節が必要となった。一部では糖尿病性ケトアシドーシスがあらわれている。HIV プロテアーゼ阻害薬を中止した例の一部では, 高血糖が持続した。] | |

表3 添付文書に高血糖について記載されている主な輸液製剤、透析液等（2007年11月現在）

（各添付文書中の項目で、重大な副作用、その他の副作用のいずれかを分類し、添付文書中の高血糖に関する表現を抜粋した）

| 名称 | 代表的製剤 | 記載欄 | 副作用の内容 |
|------------------|----------------------|-----|---|
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | トリパレン1号・2号 | その他 | 高血糖 |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | カロナリーL・M・H | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ハイカリックNC-H・NC-L・NC-N | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、ときに過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ハイカリックRF | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、ときに過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ハイカリック液-1号・2号・3号 | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、ときに過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | リハビックス-K1号・-K2号 | 重大 | 高血糖(頻度不明):本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれることがある。このような症状があらわれた場合には、投与量を減ずるかインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ミキシッド-L・-H | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、過度の尿糖、高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、インスリンの投与等の適切な処置を行うこと |

| | | | |
|------------------|-------------------|-----|---|
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | フルカリック1号・2号・3号 | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ユニカリックL・N. | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合にはインスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ネオパレン1号・2号 | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれるので、このような症状があらわれた場合には、インスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | アミノトリパ1号・2号 | その他 | 高血糖(高浸透圧性利尿、口渇) |
| ブドウ糖含有高カロリー輸液用製剤 | ピーエヌツイン-1号・-2号-3号 | 重大 | 高血糖:本剤は高濃度のブドウ糖含有製剤なので、ときに過度の高血糖、高浸透圧利尿、口渇があらわれるので、このような症状があらわれた場合には、インスリン投与等の適切な処置を行うこと |
| 輸液用電解質液(維持液-高張) | ソリタックス-H | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓透析用粉末製剤 | ハイソルブ-D | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓透析用粉末製剤 | ハイソルブ-F | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-2P号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-2S号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-3P号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-3S号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-3号 | その他 | 高血糖 |

| | | | |
|---------------|---------------------|-----|-----|
| 人工腎臓用透析液 | キンダリー液 AF-2号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | リンパック | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | リンパック | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | リンパック 3号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | リンパック TA1 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | リンパック TA3 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | キドライム T-30 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | キンダリー2D号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | キンダリー2E号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | キンダリー3D号 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液粉末製剤 | キンダリー3E号 | その他 | 高血糖 |
| 透析ろ過型人工腎臓用透析液 | バイフィル-S | その他 | 高血糖 |
| 透析ろ過型人工腎臓用補充剤 | バイフィル専用炭酸水素ナトリウム補充液 | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | AK-ソリタ・DL | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | AK-ソリタ・DP | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | AK-ソリタ・FL | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓用透析液 | AK-ソリタ・FP | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓透析用剤 | Dドライ 2.5S | その他 | 高血糖 |
| 人工腎臓透析用剤 | Dドライ 3.0S | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | エクストラニール | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | ステイセーフバランス | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | ダイアニール-N PD-2 | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | ダイアニール-N PD-4 | その他 | 高血糖 |

| | | | |
|-----------|-------------------|-----|---|
| 腹膜透析液 | ダイアニール PD-2 | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | ダイアニール PD-4 | その他 | 高血糖 |
| 腹膜透析液 | ペリセート | 重大 | 高血糖: 高血糖があらわれることがあるので(0.1~5%未満), 糖尿病患者ではインスリンの投与等適切な処置を行うこと |
| 腹膜透析液 | ミッドペリック | 重大 | 高血糖: 糖尿病患者では高血糖があらわれることがあるので, インスリンの投与等適切な処置を行うこと |
| 腹膜透析液 | ミッドペリックL | 重大 | 高血糖: 糖尿病患者では高血糖があらわれることがあるので, インスリンの投与等適切な処置を行うこと |
| 腹膜透析用電解質液 | ペリダイア液-1号・ -2号 | その他 | 高血糖: 高血糖があらわれることがあるので, 糖尿病患者ではインスリンの投与等適切な処置を行うこと |

参考1 薬事法第77条の4の2に基づく副作用報告件数（医薬品別）

○注意事項

1) 薬事法第77条の4の2の規定に基づき報告があったもののうち、報告の多い推定原因医薬品（原則として上位10位）を列記したもの。

注)「件数」とは、報告された副作用の延べ数を集計したもの。例えば、1症例で肝障害及び肺障害が報告された場合には、肝障害1件・肺障害1件として集計。また、複数の報告があった場合などでは、重複してカウントしている場合があることから、件数がそのまま症例数にあたらぬことに留意。

2) 薬事法に基づく副作用報告は、医薬品の副作用によるものと疑われる症例を報告するものであるが、医薬品との因果関係が認められないものや情報不足等により評価できないものも幅広く報告されている。

3) 報告件数の順位については、各医薬品の販売量が異なること、また使用法、使用頻度、併用医薬品、原疾患、合併症等が症例により異なるため、単純に比較できないことに留意すること。

4) 副作用名は、用語の統一のため、ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J) ver. 10.0 に収載されている用語 (Preferred Term : 基本語) で表示している。

| 年度 | 副作用名 | 医薬品名 | 件数 |
|--------|------|----------------------|----|
| 平成18年度 | 高血糖 | オランザピン | 12 |
| | | タクロリムス水和物 | 10 |
| | | インスリン リスプロ(遺伝子組換え) | 8 |
| | | 三酸化ヒ素 | 6 |
| | | インスリン グラルギン(遺伝子組換え) | 6 |
| | | アリピプラゾール | 5 |
| | | インスリン アスパルト(遺伝子組換え) | 5 |
| | | リスペリドン | 4 |
| | | コハク酸ノリフェナシン | 4 |
| | | イベルメクチン | 3 |
| | | アレンドロン酸ナトリウム水和物 | 3 |
| | | ホスフルコナゾール | 3 |
| | | ガチフロキサシン水和物 | 3 |
| | | 酢酸オクトレオチド | 2 |
| | | アムホテリシンB | 2 |
| | | 塩酸モキシフロキサシン | 2 |
| | | ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド | 2 |
| | | プレドニゾン | 2 |
| | | ヒトインスリン(遺伝子組換え) | 2 |
| | | タミバロテン | 2 |
| | | その他 | 22 |
| | 合計 | 108 | |
| | 高血糖 | アリピプラゾール | 17 |

| | | |
|--------|----------------------|-----|
| 平成19年度 | インスリン アスパルト(遺伝子組換え) | 10 |
| | ガチフロキサシン水和物 | 8 |
| | フマル酸クエチアピン | 6 |
| | ヒトインスリン(遺伝子組換え) | 5 |
| | タクロリムス水和物 | 5 |
| | オランザピン | 5 |
| | 三酸化ヒ素 | 4 |
| | 酢酸クロルマジノン | 3 |
| | インスリン リスプロ(遺伝子組換え) | 3 |
| | ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド | 3 |
| | テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム | 3 |
| | 硫酸クロピドグレル | 2 |
| | エゼチミブ | 2 |
| | 酢酸オクトレオチド | 2 |
| | コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム | 2 |
| | メシル酸イマチニブ | 2 |
| | ビカルタミド | 2 |
| | インスリン グラルギン(遺伝子組換え) | 2 |
| | その他 | 32 |
| | 合 計 | 118 |

※ 医薬品の販売名、添付文書の内容等を知りたい時は、このホームページにリンクしている独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医薬品医療機器情報提供ホームページの、「添付文書情報」から検索することができます。

<http://www.info.pmda.go.jp/>

参考2 ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J) ver.11.1 における主な関連用語一覧

日米 EU 医薬品規制調和国際会議 (ICH) において検討され、取りまとめられた「ICH 国際医薬用語集 (MedDRA)」は、医薬品規制等に使用される医学用語 (副作用、効能・使用目的、医学的状态等) についての標準化を図ることを目的としたものであり、平成16年3月25日付薬食安発第0325001号・薬食審査発第0325032号厚生労働省医薬食品局安全対策課長・審査管理課長通知「ICH 国際医薬用語集日本語版 (MedDRA/J)」の使用について」により、薬事法に基づく副作用等報告において、その使用を推奨しているところである。

下記に「高血糖」の表現を含む PT (基本語) とそれにリンクする LLT (下層語) を示す。また、MedDRA でコーディングされたデータを検索するために開発された MedDRA 標準検索式 (SMQ) として「高血糖／糖尿病の発症 (SMQ)」が提供されているので、これを利用すれば、MedDRA でコーディングされたデータから包括的な症例検索が実施することができる。

| 名称 | 英語名 |
|--|--|
| ○PT：基本語 (Preferred Term) 高血糖 | Hyperglycaemia |
| ○LLT：下層語 (Lowest Level Term) ステロイド誘発性高血糖 ストレス誘発性高血糖 高血糖 NOS 薬剤誘発性高血糖 | Hyperglycaemia steroid-induced Stress induced hyperglycaemia Hyperglycaemia NOS Drug-induced hyperglycaemia |
| ○PT：基本語 (Preferred Term) 高血糖性高浸透圧性非ケトン性症候群 | Hyperglycaemic hyperosmolar nonketotic syndrome |
| ○LLT：下層語 (Lowest Level Term) 糖尿病性高浸透圧性非ケトアシドーシス | Diabetic hyperosmolar non-ketoacidosis |
| ○PT：基本語 (Preferred Term) 糖尿病性ケトアシドーシス性高血糖昏睡 | Diabetic ketoacidotic hyperglycaemic coma |
| ○PT：基本語 (Preferred Term) 糖尿病性高血糖昏睡 | Diabetic hyperglycaemic coma |
| ○LLT：下層語 (Lowest Level Term) 高血糖昏睡 | Coma hyperglycaemic |